



わくわく 出水南

発行：校長 上妻 薫

六月 講話集会 (校長講話)

運動会、本当に素晴らしかったです。みなさんが、これまで練習してきた成果をしっかりとだせていてよかったです。お家の方も感動しておられました。

6月の生活のめあては、なんでしょう。「落ち着きのある生活をしよう」です。

廊下の棚や雑巾がけがきちんと整頓してあると気持ちがいいですね。

さて、どこの教室の廊下かな？きつと落ち着いた生活ができると思いますが、また、今日の朝のちょボラ活動では、1年生のペットボトルがとれないを手伝っている3年生がいました。また、ペチュニアの花がら(しよんぼりさん)を摘んでいる4年生、5年生や6年生は、校庭の隅の落ち葉をきれいに掃いてくれていました。最後に集めて、落ち葉を捨てる場所までしてくれました。きれいな環境は、人の気持ちを落ち着かせると思えます。みんなできれいな環境をつくっていきましょう。

さて、今日は、「となりのしげちゃん」のお話をします。出水南小の図書室にもある絵本なので、ぜひ読んでください。(表紙)

みんなにも、いろいろなお友達がいると思います。おしゃべりが得意な人や苦手な人・・・走るのが速い人やおそい人。

自分と同じようにできないからとか、同じでないからといって、イライラしたりして、きつい言葉をかけたりするお友達はいませんか？

「○○のくせに・・・」「背が低いくせに・・・」「足が遅いくせに・・・」「頭が悪いくせに・・・」など、そんな言葉を使っている人はいないでしょうか。自分をふりかえってみましょう。

(一度もないという人は手をあげてください。いいですよ。今あっても、これから先、そんな言葉を言わないといいですから。人は、みんな失敗します。失敗をしない人はいません。失敗をして少しずつ大人になっていきます。だから、みんな学校で学ぶのです。)



↑ ちょボラで花がらつみ



↑ PTA の方の制作掲示に感謝！



↑ ちょボラで校庭の落ち葉掃き



↑ 朝顔観察 タブレット活用

私たちは、誰でも、いろいろな苦手や得意な部分をもっていきます。また、病気になったり、事故にあったりして、できないことが出てくるかもしれません。でも、それを、克服し、社会で生きていくために道具を使うこともあります。例えば、目が悪くて見えにくいときは、眼鏡という道具を使います。足が悪くときは、車いすやつえを使います。苦手なところは、そのような道具を使うことで克服できます。みんなにとって幸せな社会をみんなで作っていききたいものです。その心を学んでいるのが学校だと思います。今日は、最後に、みんなにとって幸せな社会になるための道具を開発している人たちを紹介します。(後略)